

野生トキ観察施設の整備

(令和元年度完成施設)

(北陸地方整備局営繕部)

1 整備の経緯

本施設は、トキに対する理解やトキ野生復帰の意義について、より一層普及啓発することを目的として、野生トキの出現頻度が高く、先進的な生息環境の整備が行われている野生復帰ステーション周辺において、トキとその生息環境を多くの人が観察できる場所として整備したものです。



施設外観



屋内観察室



屋上観察スペース

2 整備にあたっての主な配慮事項

- 野生トキの行動や生態に配慮した施設整備
 - 造成土量を抑える計画による工期の短縮化
 - 建設にあたり既存樹木の伐採を最小限に抑える配置計画
- 快適な観察空間及び移動空間の確保
 - 建設地の標高や観察対象地の範囲を考慮した建物有効高さの設定
 - 室内眺望方向に開口面積の大きな固定窓設置
 - アプローチ園路に横断防止柵やガーデンライトの設置
- 周辺環境への配慮
 - 積極的な木材利用
 - 自然換気を促す通風地窓等の設置による空調負荷低減
 - 周辺環境と調和した色彩計画



屋上からの眺望

■施設概要■

- 名称 野生トキ観察施設
- 所在地 新潟県佐渡市新穂正明寺1277番地
- 構造・規模
・観察施設 鉄骨造2階建
延べ面積 162㎡

■工事概要■

- 工期 2018年11月～2019年8月
- 施工者 遠藤建設・中野建設工業
経常建設共同企業体
- 設計・監理
・設計 (株)グリーンシグマ
・工事監理 北陸地方整備局営繕部